

令和5年4月28日

緑小だより

横浜市立緑小学校 5月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

オ・ア・シ・ス

校長 寺澤 みゆき

緑小学校に着任し、まもなく1ヶ月が過ぎようとしています。日々の交差点指導や教室訪問、休み時間に校長室を訪れる子どもたちとの会話などから、よさをたくさん知ることができました。

一つ目は、どの学年の児童も、真剣に学習に取り組んでいること。二つ目は、新しい友達や先生方とも積極的に関わろうとしていること。新年度を迎え、新たな目標に向かって頑張っている姿が、まぶしい限りです。

4月24日の朝会では、新しい学年や学級の中でのコミュニケーションがさらに円滑になるよう、「オ・ア・シ・ス」運動の話をしました。

『オアシスとは、砂漠の中に真水が湧き出ている場所のことです。砂漠を渡り、旅する人々が疲れを癒し、ほっとひと息つくことができる場所。そんな場所のように「オ・ア・シ・ス」運動をすると、した人もされた人も、みんなの心がほっとすることができます。』

「オ」は「おはよう」、「ア」は「ありがとう」、「シ」は「失礼します」、「ス」は「すみません」。どれも、挨拶の言葉です。朝、その日初めて顔を合わせたとき、元気な声で「おはようございます」と声を交わすと、自然と笑顔になれます。ちょっとしたことでも、「ありがとうございます」の言葉が添えられると、ああ、よかったと嬉しくなります。廊下や階段で行きあたり、入室したりする際、「失礼します」のひと言があると、「どうぞ」と譲る気持ちになります。丁寧な「すみません」の言葉で、受け入れる気持ちができます』

「オアシス運動」とは、昭和30年頃、長崎県長崎市伊王島町教育委員会の社会教育主事が、挨拶の大切さを示す標語として考案したものです。分かりやすさとイメージのしやすさで、瞬く間に全国に拡散していったそうです。70年ほど前から全国に普及している運動のため、保護者や地域の皆様の中にも、ご存じの方は大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。

交差点指導に立った初日は、「おはよう」と声をかけると怪訝な顔をする子どもが多かったですが、今は立ち止まって挨拶をしてくれる子や、斜向かいの角から声をかけてくれる子、手を振ったり会釈をしたりしてくれる子も増え、うれしい限りです。

みどりっ子のこの素敵な姿が、家庭や学校だけにとどまらず、地域のいたるところで見られるようになることを願い、これからも子どもたちに声をかけていきます。

さて、5月27日（土）は体育発表会です。一人ひとりがめあてをもち、計画や練習に取り組んでいます。机上の学習では得られない体験を通して、たくさんのことを学ぶ行事です。保護者の皆様には、お子様への励ましに加え、当日に向けた体調管理をお願いいたします。

地域の皆様、練習期間から当日にかけて、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思えます。地域の子どもたちの成長を促す教育活動とご理解いただき、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。